

自ら考え・動き出し、

新しい知識・価値を創り出す

児童の育成に向けて

「情熱企業」・「Dearボス」・「探検ファクトリー」。

これは企業が商品開発等を通して、新しい価値を創り出した成果などが紹介されるテレビ番組です。

そのような番組を見る度に思うことが、やはり各企業、これまでの様々な知識や技能等を生かされつつ、創造的な思考を、個人で、または協働して展開し、かつ試行錯誤を繰り返す中で、新しい価値を創造されているということです。そして、新市小学校の子どもたちには、そんな力のもとになる力を身に付けていってほしいと思っています。

昨年度から広島県教育委員会の指定事業である「キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業」を新市中央中学校区の小学校が受け、本校も実践を行っている

ます。

その事業のポイントになるのが地域・企業連携です。

昨年度は、複数学年で、教科等の学習に企業（中国新聞社・明治・SOM建築事務所）の方にも講師として来校いただき、学びを深めました。今年度も引き続き、教科等で実施していく予定としています。

このことの目的は「現実社会との関わりの中で子どもたち一人一人の豊かな学びを実現していくこと」にもあります。そうすることは、社会に関心をもち自ら考え、動き出そうとすることにもつながると考えます。

話題を少し変えます。（株）アドビという会社をご存知でしょうか。電子ファイルのPDF文書編集ソフト等開発会社です。その会社が二〇二一年にアンケート調査（十二歳から十八歳）をいくつかの国に行った結果が発表されています。「国別で創造力のあると思う国」「第一位日本」、そして、日本の十二歳から

十八歳が、自分達を「創造的」と答えた割合はわずか8%（平均44%）となったそうです。

このことについては、様々な考察もできそうですが、もともと日本は自分達の創造力が豊かだということに自信をもつても良いのではないかなと思います。また、同時に、なぜ創造力に自信がもてないのかとも思えてきます。

そう考えた時、例えば小学校五年生で学習する理科の「ふりこのきまり」。これは、一五八三年にガリ

レオ・ガリレイが発見したと言われています。見方・考え方を変えると、振り子の動きから、科学者の歴史的発見の追体験・追思考を行っているのがその学習ということにもなります。そして、そのことを自分で考え、発見し、理解していつているわけです。そのようなことを、日々行っている子どもたちは、価値ある体験・思考を日々行っているのだと思います。

子どもたちに日々の教科等を指

導する基になっている学習指導要領では、「いまだかつてなかったような急速かつ激しい変化が進行する社会を一人一人の人間が主体的・創造的に生き抜いていく」ことが一つの目的とされています。

子どもたち一人一人の見出した結果の価値、見出そうとすることの価値、そして一人一人の価値を大切に、より主体的な学びを進めることができるよう取り組んでいきたいと考えています。

今年度の本校の研究テーマは、「自ら考え・動き出し、新しい知識・価値を創り出す児童の育成」としています。

子どもたちが未来に向けすこやかに成長できるよう取組を進めていきます。保護者・地域の皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

福山市立新市小学校校長

「こんにちははスクール」

新市小学校PTA

広報部第一号より